

豊岡市のジェンダーギャップ解消の取組みを紹介する本が出版。できれば地元の書店でお買い求めて読んでみてください

『若者・女性の流出問題に取り組む 7 万 4 0 0 0 人が暮らす小さな行政の組織改革』

官民が手を取り合い、意識改革に取り組む知られざる豊岡市の変革の物語。
自治体職員、NPO 職員、中小企業経営者、教育関係者必読の書！！

【内容紹介】

若者や女性にも選ばれる地方をつくる、国の地方創生 2. 0 においても先行事例として紹介され、全国から視察が相次ぐ豊岡市。2023 年発刊の「豊岡メソッド（大崎麻子・秋山基著、日経 B P 社）」では、豊岡市がジェンダーギャップ解消の取組を多様な分野横断的に進めてきた経緯と概要に加え、行政、企業、地域、若者など関係者への丹念な取材により、「ビジョン」「データ分析」「実践」の伴った取組などその改革の実態に迫り読みやすくまとめた一冊でした。

本書ではさらに、豊岡市のジェンダーギャップ解消の取組がどのようにして「政策の窓」が開かれたのかなどを豊岡市のアドバイザーを務める萩原なつ子さん（国立女性教育会館理事長）をはじめ小安美和さん（株 Will Lab 代表取締役）や地元関係者など各分野のキーパーソン 7 人（ZERO GAP とよおか）が具体例を紹介しながらわかりやすく説明しています。

【さらにご紹介】

若者・女性の流出が止まらない—その課題に真正面から向き合った兵庫県豊岡市。市長の気づきから始まった「ジェンダーギャップ解消戦略」は、職場・地域・家庭・学校など、まちぐるみの改革へと進化していきました。本書は、政策立案から実行までのプロセスを、実際に豊岡とともに歩んだ 7 人の実践的ドキュメントです。根深い性別役割意識や制度の壁にどう挑み、どのように共感と当事者意識を広げていったのか。自治体改革や人材戦略のヒントが詰まった一冊。できるだけ地元の本屋さん（地域の文化装置）でお買い求めください

【目次】

オリエンテーション 問題提起——女性が「地方を離れる」決断をする時

第 1 章 行政経営戦略——なぜ、ジェンダーギャップ解消が必須なのか

第 2 章 戦略の策定——「魅力ある企業」が増えれば、「地方暮らし」も楽しい

第 3 章 変化の予兆——まずは「職員たちの働き方」から

第 4 章 戦略の実践——「まちの将来像」を地域で考える

第 5 章 地域との対話——「教育現場」「行政」の連携で価値観を変える

第 6 章 創生の処方箋——「地域の変革」に必要な 5 つの考え方



ZERO GAP とよおか 編著

発行：生産性出版（TEL03-3511-4034）

発行時期：2025 年 9 月 3 日（予定）

定価：2,420 円（本体 2,200 円＋税）

サイズ：四六判・並製・縦組み

ページ数：252 ページ

ISBN978-4-8201-2168-8 C2034